



平成 27 年 9 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社シーアールイー
代表者名 代表取締役社長 山下 修平
(証券コード 3458 東証第二部)
問合せ先 執行役員管理本部長 永浜 英利
(TEL 03-5572-6600)

株式会社エンバイオ・ホールディングス第三者割当増資引受による資本業務提携 及び持分法適用関連会社化に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 9 月 25 日開催の取締役会において、株式会社エンバイオ・ホールディングス（証券コード 6092、東証マザーズ、以下、「エンバイオ」といいます。）との間で資本業務提携（以下、「本資本業務提携」といいます。）を行い、エンバイオを持分法適用関連会社とすることについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 資本業務提携の理由及び目的

当社グループは物流不動産を中心に総合サービスを展開しております。特に、主力事業の一つである先進的物流不動産¹の開発事業(物流投資事業)を成長ドライバーとして位置付け、現在、当社グループの事業を更に成長させていく為の重点項目として、「開発用地仕入能力の強化」に取り組んでおります。

大規模な物流施設開発用地は、工場跡地等を再利用するケースが多く、工場の利用用途によっては、様々な土壤汚染問題を抱えております。そういった背景の中、当社グループの開発においても、土壤汚染対策ノウハウの重要性が高まってきており、多くの案件を通して蓄積してきた開発ノウハウに更に厚みを持たせる必要があります。

これまでの当社開発案件において、当社とエンバイオは既に取り関係を構築してきており、関係を深め継続するため、このたび、資本業務提携契約を締結することにいたしました。

エンバイオは、土壤浄化分野における原位置浄化²のパイオニアとして高い技術力を有するだけでなく、近年は国内だけでなく、中国における浄化実績も拡大しており、国内外の汚染地における土壤汚染対策の豊富な知見を有しております。本資本業務提携によって両社のバリューチェーンが強化されることにより、さまざまな用地規模及び汚染状況への対応力が高

¹ 延床面積 10,000 m²以上、床荷重 1.5 トン/m²以上、天井高 5.5m以上などで、機能的な設計を備えた賃貸用物流施設。

² 汚染土壤がその場所にある状態で抽出・分解等の方法により、当該土壤中から特定有害物質を除去する土壤汚染対策手法。

まり、土壌汚染地再活用事業（ブラウンフィールド活用事業）が活性化することで、開発用地の供給が加速されると考えております。利用土地が限られております日本においては、特に土壌汚染地再活用事業による『土地再生』は社会的意義も大きく、積極的に両社で取り組んでいく所存です。

今後、土壌汚染をめぐるブラウンフィールド問題を解決することで土地取引の健全化・活性化をはかり、両社の企業価値の向上を進めてまいります。

2. 資本業務提携の内容等

(1) 本資本業務提携の内容

当社及びエンバイオは、以下の内容の実現に向けて相互に協力してまいります。

- ① エンバイオが行う土壌汚染地再活用事業(ブラウンフィールド活用事業)における、当社グループの土地の仕入、運用、売却のノウハウの提供と協業
- ② 両社が有する汚染土地情報の共有と有効活用
- ③ 当社グループの物流投資事業において発生する汚染土壌の浄化工事に対する、エンバイオの技術提供

(2) 新たに取得する相手方の株式の取得価額

当社は、本資本業務提携に基づき、エンバイオが実施する当社を割当先とする第三者割当増資により、エンバイオの普通株式 1,200,000 株（当社の保有割合：22.28%）を 1 株あたり 802 円、総額 962,400,000 円で引き受ける予定です。

3. 業務提携の相手先（異動する持分法適用関連会社）の概要

| | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|----------|
| (1) 名称 | 株式会社エンバイオ・ホールディングス | | |
| (2) 本社所在地 | 東京都千代田区神田多町二丁目 11 番地 | | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 西村 実 | | |
| (4) 事業内容 | 持株会社 | | |
| (5) 資本金 | 433,582,560 円（平成 27 年 8 月 31 日現在） | | |
| (6) 設立年月日 | 平成 11 年 6 月 23 日 | | |
| (7) 大株主及び持株比率 (平成 27 年 3 月 31 日現在) | 西村 実 | 571 千株 | (13.77%) |
| | 中村 賀一 | 361 千株 | (8.70%) |
| | 平田 幸一郎 | 200 千株 | (4.82%) |
| | 投資事業組合オリックス 11 号 | 194 千株 | (4.68%) |
| | 日本証券金融株式会社 | 79 千株 | (1.92%) |
| | 株式会社 SBI 証券 | 62 千株 | (1.50%) |
| | 中間 哲志 | 55 千株 | (1.33%) |
| | 大澤 都世子 | 55 千株 | (1.33%) |
| | 境 治美 | 55 千株 | (1.33%) |
| | マネックス証券株式会社 | 46 千株 | (1.12%) |
| (8) 上場会社と当該会社との間の関係 | 資本関係 | 該当事項はありません。 | |
| | 人的関係 | 該当事項はありません。 | |
| | 取引関係 | 当社は当該会社に汚染土壌の浄化工事業務及び地歴調査業務を発注しております。 | |
| | 関連当事者への該当状況 | 該当事項はありません。 | |

| (9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態 | | | |
|-------------------------------|----------|----------|----------|
| 決算期 | 平成25年3月期 | 平成26年3月期 | 平成27年3月期 |
| 連結純資産 | 621百万円 | 1,384百万円 | 1,438百万円 |
| 連結総資産 | 1,470百万円 | 2,220百万円 | 3,719百万円 |
| 1株当たり連結純資産 | 222.98円 | 345.31円 | 346.60円 |
| 連結売上高 | 1,493百万円 | 2,108百万円 | 1,979百万円 |
| 連結営業利益 | 109百万円 | 231百万円 | 68百万円 |
| 連結経常利益 | 104百万円 | 188百万円 | 47百万円 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 61百万円 | 104百万円 | 12百万円 |
| 1株当たり連結当期純利益 | 22.00円 | 36.75円 | 2.93円 |
| 1株当たり配当金 | 0円 | 0円 | 0円 |

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

| | | |
|---------------|---|--------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0%) | |
| (2) 取得株式数 | 1,200,000株 (議決権の数：12,000個) | |
| (3) 取得価額 | エンバイオの普通株式 | 962,400,000円 |
| | 合計 | 962,400,000円 |
| (4) 異動後の所有株式数 | 1,200,000株 (議決権の数：12,000個) (議決権所有割合：22.28%) | |

5. 日程

| | |
|------------------|-----------------|
| (1) 取締役会決議日 | 平成27年9月25日 |
| (2) 本資本業務提携契約締結日 | 平成27年10月13日(予定) |
| (3) 払込期日 | 平成27年10月13日(予定) |

6. 今後の見通し

本資本業務提携が平成28年7月期の当社連結業績に与える影響は現段階において軽微であります。今後開示の必要性が生じた際はその内容を速やかに開示いたします。

また、株式取得費用は、自己資金及び金融機関からの借入により調達いたしますので、当社において増資を行う予定はありません。

以上